

Social Media Guideline

ソーシャルメディア利用のためのガイドライン

ソーシャルメディア（LINE、Facebook、YouTube、X、TikTok等）は、現代ではコミュニケーションツールとして広く普及していますが、使い方を誤ると思わぬトラブルを引き起こし、結果として被害者や加害者となってしまう危険性があります。ソーシャルメディアの特性や危険性を正しく理解し、自覚と責任をもってソーシャルメディアを適切に利用してください。

- 1 法律や条例等のルールを遵守し、他者の権利を侵害することのないようきをつけましょう。ソーシャルメディアにはみなさんの友人だけでなく、様々な人々が存在していることを忘れないでください。みなさんの発信により傷ついたり、不快に感じる人もいることを意識し、普段から礼儀正しい言動を心がけましょう。他人に不快な思いをさせた場合や万一トラブルになった時は、先生に相談してください。
- 2 ソーシャルメディアの中には公開範囲を設定できるものもありますが、情報が外部に流出しないという保証はありません。自分だけでなく友人も含めて、自宅の住所や個人の電話番号やメールアドレスなどは絶対に書き込んではいけません。
- 3 写真を投稿する際には、一緒に写っている人たちに注意しましょう。他人が写り込んでいる写真を無断で投稿すると肖像権やプライバシー権を侵害することになります。また、学校行事の写真などでも自分以外の人々が写っているものを投稿してはいけません。
- 4 ハンドルネームなどを使用して発信をしても、過去の発言やプロフィール、ソーシャルメディア以外の情報などを集積することで個人が特定されてしまうこともあります。このような場合自分だけでなく家族や友人を含めあらゆる情報が公開・拡散される危険があります。慎重な情報発信を行いましょう。
- 5 ソーシャルメディアで特定の個人を集中的に攻撃する行為は、名誉毀損や人権侵害につながる恐れがあります。面白半分で炎上に加担することは決してしてはいけません。
- 6 発信した文章や画像は、削除しても半永久的にインターネット上に残る可能性があります。同様に友人の悪口や中傷など一度発信してしまったものは決して消えません。友人とのグループラインなどで、憶測で発言するのはやめましょう。たとえ事実であったとしてもソーシャルネットワーク上に書き込むことはやめましょう。発言内容をもう一度見返してから、投稿しましょう。
- 7 ソーシャルメディアを通じて親しくなった人に個人情報をお教えることは絶対にやめましょう。相手はなりすましをしている可能性もあります。ソーシャルメディアの世界は決して善い人ばかりではありません。